



# M みようこう市議会だより

平成30年12月定例会 No.56

12月定例会は、11月30日から12月18日までの会期19日間で開かれました。この定例会には、平成30年度補正予算10件をはじめ、条例関係3件、指定管理者の指定など事件議決8件、人事案件2件が市長から提案され、いずれも原案のとおり決まりました。また、10人の議員が市政に対する一般質問を行いました。さらに、条例関係1件が議員発議され、原案のとおり決まりました。

## 【主な内容】

- 11月臨時会、12月定例会ではこのように決まりました！……………2ページ
- 常任委員会で議案をじっくり審査……………3ページ
- ここが聞きたい！一般質問……………4～9ページ
- 審議された議案と審議結果……………9ページ
- 議会改革に取り組んでいます！……………10～11ページ
- 委員会調査を実施、ほか……………12ページ

## 24議案を慎重審議しました!!



昨年の補欠選挙により定数18人を満たしました。

# 11月臨時会、12月定例会ではこのようなことが決まりました！

## 11月臨時会

一般会計 3,570 万円を増額 ⇒ 一般会計総額は 202 億 108 万 8,000 円に

### 【補正予算の概要】

- ◆ 保育園・認定こども園、小学校、中学校における児童生徒等の熱中症対策や学習環境の改善を図るため、冷房設備の整備に係る実施設計委託料を補正するもの。

保育園・認定こども園：2園（保育室7室、遊戯室等3室）

小学校：8校（普通教室87室、特別教室45室）

中学校：3校（普通教室43室、特別教室35室）

## 12月定例会

### 指定管理者の指定

施設名	指定管理者	指定期間
卯の花児童遊園	姫川原下組自治会	平成31年4月1日～平成41年3月31日まで
藤塚児童遊園	大字藤塚新田	
美守児童遊園	美守町内会	
美守東児童遊園		
妙高市大崎町ふれあい広場	大崎町町内会	
新井総合公園体育館	NPO法人 スポーツクラブあらい	平成31年4月1日～平成34年3月31日まで
矢代コミュニティスポーツセンター	矢代地域づくり協議会	平成31年4月1日～平成35年3月31日まで
妙高市妙高山麓都市農村交流施設	一般社団法人 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会	
クライנגルテン妙高		
四季彩館ひだなん	株式会社アルゴス	平成31年4月1日～平成32年3月31日まで

### 工事請負変更契約の締結（高谷池ヒュッテ増築・建築工事）

高谷池ヒュッテ増築・建築工事の工期延長に伴い、工事請負変更契約を締結するもの。変更後の請負契約金額は、1,977万3,720円を増額し、2億2,497万3,720円で、(株)加賀田組上越営業所と工事請負変更契約を締結するもの。

## 予算の補正

# 一般会計 3,592万2,000円を増額

⇒ 一般会計総額は202億3,701万円に

### 【補正予算の概要】

- ◆ 高谷池ヒュッテ増築・建築工事について、天候不順によりヘリコプターによる資材の空輸が予定どおり実施できなかったことで、工事の年度内完了が見込めないことから、次年度へ繰り越すとともに、繰り越しに伴い、当初設計より増加するヘリコプター空輸代等に係る経費について、予算不足額712万円を増額補正するもの。
- ◆ 国民年金法の改正により、第1号被保険者の産前産後期間に係る保険料免除制度が開始されることに伴い、国民年金事業システムを改修するもの。
- ◆ 県営農業農村整備事業の増額に伴い、負担金の増額を行うもの。
- ◆ 国の人事院勧告等に準じた議員等の手当及び職員給与の改定等に伴う人件費を調整するもの。
- ◆ 国県の平成27年度及び平成28年度負担金の確定による精算金の補正を行うもの。
- ◆ 年間を通した工事の発注、施行時期等の平準化を図りたいことから、道路適正管理事業及び道路新設改良事業について、<sup>\*</sup>債務負担行為の設定を行うもの。

\*債務負担行為…将来的に債務を負担することとなるような原因行為(例えば契約)を行う場合に、あらかじめ予算の一部として債務負担の期間や総枠を定めること。

# 常任委員会で 議案をじっくり審査

〈付託案件の主な質疑〉

## 【総務文教委員会】

■議案第90号 市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正

【概要】公職選挙法改正により、市議会議員の選挙運動用ビラの頒布が可能になったことから、ビラ作成の公営の對象に、市議会議員選挙を加えるもの。

問 ビラの作成は4000枚が上限だが、その範囲内で数種類作成することは可能か。

選挙管理委員会書記長 作成できるビラは2種類以内で、合計4000枚以内となっている。

■議案第91号 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正

【概要】人事院勧告等に準じ、市議会議員及び特別職の期末手当の支給割合を0・05カ月分増額するもの。また、民間給与との均衡を図るため、人事院勧告等に準じ、一般職員

の給料月額を初任給を含む若年層職員に重点を置いた引き上げと特別給0・05カ月分を勤勉手当に配分し引き上げるための改正等。

問 市の正規職員の給与改定は当該年度の4月に遡るが、臨時職員等の改定はどうなるのか。

総務課長 臨時的任用職員等の賃金は、今回の正規職員の給与改定や近隣市とのバランス等を勘案し、31年度に改定予定である。

■議案第92号 スポーツ等合宿の郷づくり推進条例の一部改正

問 他の合宿地との差別化を図るため、合宿に訪れるための交通費助成の考えは。

生涯学習課長 交通費助成を行う自治体もあるが、効果は一時的なものと考えている。当市の豊かな自然や充実した施設等、合宿地として優れた環境を前面に出し、合宿誘致に取り組み。

## 【建設厚生委員会】

■議案第93号 市道の認定

【概要】道の駅あらい拡充整備に伴う1路線及び、東開地内の国道292号の改良により県から移管される1路線の計2路線を新たに認定するもの。

問 拡張道の駅場内の市道の歩道は、片側とのことだが、両側に歩道がなくてよいのか。

建設課長 拡張道の駅場内では、歩行者の安全対策として、横断歩道などで車道と区分けをし、安全対策を行うため、問題ないと考えている。

■議案第94号 損害賠償の額を定めること

【概要】市道で発生した道路管理の瑕疵の損害賠償について。

問 道路管理者としての瑕疵はどのようであったか。

建設課長 道路管理者は常に道路を適正に管理する必要があるが、側溝の蓋が草で覆われていたことで、蓋の状況が確認できなかったことに対し瑕疵があり、過失割合は3割となった。

■議案第102号 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 平成29年度の特定健診実施人数が予定を下回ったことだが、結果はどのようなであったか。また、実施人数が減となった原因と対応は。

健康保険課長 29年度の健診実施人数を2960人と見込んでいたが、130人少なかった。受診率60%を目指していたが、29年度は速報値で58・1%である。受診率向上に向け、電話による受診勧奨や今後の受診予定の聞き取り等、継続的に取り組んでいる。

## 【産業経済委員会】

■議案第98号 指定管理者の指定(妙高山麓都市農村交流施設及びクラインガルテン妙高)

問 ハートランド妙高の収支実績が減少しているが、29年度収入の内容はどのようなであったか。

農林課長 主な収入は、指定管理委託料で、そのほかは施設利用料収入である。

問 クラインガルテンに入居できる年数と待機者の状況はどのようなか。

農林課長 クラインガルテンの入居は5年区切りで1年毎の更新だが、その後は待機者との抽選となり、再入居も可能である。現在待機者はいない。

■議案第99号 指定管理者の指定(四季彩館ひだなん)

問 直売所が狭く、改装の考えはないか。また、指定管理者からの要望はどのようなか。

農林課長 生産者組合から過去に要望があったが、立地状況から拡張スペースが取れない。拡張道の駅に新たな直売所を整備することから、その中で解消を図りたい。

■議案第103号 工事請負変更契約の締結(高谷池ヒュッテ増築・建築工事)

問 変更契約となった理由はどのようなか。

建設課長 天候不順により、年度内完成が見込めないため、繰越工事となる。これにより、ヘリで重機を一度現場から下げ、再度上げる作業が発生することから、契約額が増額となる。

問 工期がタイトだが、これまでの教訓を踏まえた工期になっているか。

建設課長 受注者と協議を行っている。



高谷池ヒュッテ

# 市政のここが聞きたい!

# 一般質問

定例会において、  
議員が市の将来や方針、施策等について質問をすることです。  
12月6日、7日に議員10人による  
一般質問が行われました。

※見出し、質問部分は質問者本人が執筆したものを編集しました。

「ここが聞きたい」一般質問



## 市長の選挙公約と総合計画について

堀川 義徳 議員



**問** 5期目の当選を果たした入村市長であるが、選挙期間中に公約として市民と約束した政策を2020年からスタートする第3次妙高市総合計画に財政面も含め、どのように反映させていくのか。

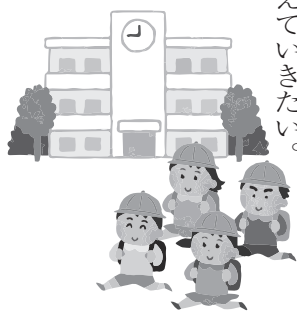
**市長** 選挙期間中に公約として掲げた6つの柱に沿った政策は、市民の思いと英知を結集し、確実に前へ、そしてその先へと全身全霊で進める決意である。政策の実行については、直ちに始動できるものから、中・長期的に取り組まなければならないプロジェクトもあるが、妙高市を次世代に自信を持って引き継いでいくために、スピード感を持って対応したい。公約としての政策は策定中の第3次妙高市総合計画に反映させながら、重点的かつ先導的に推進する。また、財政面の裏付けについては、普通交付税や市税収入の減少等を見通した総合計画期間の財政フレームを設定するとともに、今後の経済動向や地方財政計画などの調整を図りながら、国・県特定財

源の活用や民間投資、クラウドファンディング等の新たな財源確保に取り組み、引き続き安定的な財政の運営と健全化に努める。

### 新教育長の教育方針について

**問** 少子化の影響により、市内では更に進む小規模校や少人数学級に対し、地元との協議や調整に時間を要す小・中学校の統廃合をどのように考え進めていくのか。

**教育長** 学校の統廃合については、これまで同様、地域との協議を行い、地域の思いなどを尊重して対応したい。当市においても全ての小・中学校で児童・生徒数が減少傾向にある。将来的な統廃合は、今後の児童・生徒数の推移とそれに伴う複式学級の可能性、学校施設の状態等を踏まえ、教育に格差が生じないように、望ましい教育環境を地域と考



会議録検索システム

一般質問について、詳しくは、会議録検索システムをご利用ください。  
12月定例会の会議録は、現在、作成中のため2月下旬から利用できる予定です。  
<http://www.kaigiroku.net/kensaku/myoko/myoko.html>





# 市民が読みたい本を 移動図書館対応で

山川 香一 議員



**問** 図書館充実には市民が望む蔵書が一番重要と考えるがどうか。

**教育長** 新たな図書館では、幅広い年代のニーズに応え、時代の変化にも対応した図書や資料を収集し、提供していきたい。

**問** 市内には図書館から遠く、交通が不便な地域もあることから、移動図書館が必要と考えるがどうか。

**教育長** 移動図書館は、蔵書管理や人的な体制などの課題もあり、今後慎重に検討したい。

**問** 財政的に厳しい中、蔵書の充実のため福島県矢祭町のように、全国へ蔵書の寄附を呼び掛けてはどうか。

**教育長** 現在も図書の寄附を受けているが、今後も購入図書を補充しながら、蔵書の充実に努めたい。

**問** 図書館に体験や探究活動を支援する専門知識のある、ボランティアを配置してはどうか。

**教育長** 新図書館ではボランティアなど、市民の参画を一層促進し、子どもたちに本を選ぶ楽しさや知る喜びを提供し、次の学びにつ

ながる図書館を目指したい。

## 文化財や地域の祭りを活用し観光宣伝を

**問** 市内にある歴史的、文化的価値の高い国内最古級の佛像などのレプリカを作成し、観光面へ活用してはどうか。

**市長** 文化財のレプリカ作成は、文化財保護に携わってきた地域の信仰への思いなどもあり、これまでどおり写真によりPRを行う。

**問** SNSを活用し、関山神社の火祭りの更なる情報発信を図ってはどうか。

**市長** 30年度、妙高ノートで祭の様子をフォトギャラリーとして紹介したほか、フェイスブックを活用し情報発信した。引き続き当市の魅力発信に取り組み。

**問** 妙高山麓時代祭の規模拡大のための支援の考えは。

**教育長** 今後、地元の要請等により、人的支援などを検討したい。

**問** 文化財保護や活用のための地域リーダー育成の考えは。

**教育長** 歴史文化基本構想を基にした地域の活性化に向け、ガイドボランティア育成や人材の発掘に取り組む。



# 駅を中心にした 市街地の活性化について

宮澤 一照 議員

子どものころからまちづくりを  
考える機会を持つべきでは

新井駅の待合室を市独自で  
整備すべきでは

**問** 今後のまちづくりについて、これから担う世代がどんな街に住みたいか、どう考えているかを集約するとともに、子どものころからまちづくりを考える機会を持つことが重要である。次世代へ繋ぐまちづくりについて、どのように考えているか。また、まちづくりを進める上では、まちづくりに興味を持つってもらうことから始めるべきである。そこで中心市街地の活性化に若者や小学生を含めた学生から新たなまちづくりの発想を得ながら進めるべきだがどうか。

**市長** 今後のまちづくりについては、立地適正化計画の策定にあたり、15歳以上の若い世代を含めアンケートを実施し、次世代を担う若い世代の声を聞きながら計画に反映していくこととしている。また、若者がまちづくりに参加する機会として、わかもの会議では市街地活性化を含め、幅広い視点からまちづくりについて議論している。

**問** 市街地に人が集まるための仕組みづくりとして、新井駅の待合室を市独自で整備できるよう、えちごトキめき鉄道と話し合いを進めるべきだがどうか。

**市長** 現時点で新井駅の待合室を市単独で整備する考えはないが、駅を中心とした賑わいづくりのため、待合室を含めた駅の活用に向け、駅利用者の意見等に配慮し、地域の団体等の主体的な取り組みを促進したい。

人の集まる仕組みとして  
自動運転車両導入を

**問** 中心市街地に人が集まる仕組みとして、民間企業と連携した自動運転車両を導入してはどうか。

**市長** 自動運転技術の活用は、国による社会実験が実施されている。法整備や安全対策など課題も多く、実証化にはしばらく時間を要することから、今後得られる知見等を注視する中で検討したい。



1111が聞きたしー一般質問



# 市長の政治倫理 条例制定を

渡辺 幹衛 議員



「こころが聞きたい」一般質問

## 北の玄関口にふさわしい改善を

**問** 「李下に冠を正さず」という市長の倫理観を示す好機だ。「初心に帰って」という市長の政治倫理条例制定についての見解は。

**市長** 市政は市民の厳粛な信託に基づくものと認識し、全体の奉仕者として市民の信頼に応えるため、政治倫理向上に努め、公平な行政運営に取り組んできた。今後も自らの責務を深く自覚し、公正で開かれた民主的な市政の発展に努める。

**消費増税への市長の認識は**

**問** 消費税は、大企業の強い要望であり、福祉の充実や財政再建に向けられることなど決してない。消費税率10%への引き上げを必要と考えているのか。または、「好ましくない」と考えているのか。

**市長** 消費税増税は、今後の社会保障の充実や子育て層の支援などの財源確保の観点から必要な施策の一つと考えるが、増税に伴う低所得者への配慮など、国が適宜適切な施策を実施していくことが重要であると認識している。

**問** 北の玄関口に相応しく、北新井駅を「上杉景虎駅」に改称することと、斐太歴史の里総合案内所のトイレを水洗化し、農業集落排水へ接続するよう提案する。

**教育長** 駅名改称は、地域住民等の理解のほか、費用の面から難しいと考えている。総合案内所のトイレの農業集落排水への接続による水洗化は、国史跡指定地内での工事に伴う文化庁の許可が必要となる。速やかな改修は難しいが、水洗化の必要性を認識しており、早期の改修を目指したい。

## インフルエンザ対策を

**問** 今期のインフルエンザ対策として、あいうべ体操や、手洗い励行のための給湯設備の取り組みはどのようなか。

**教育長** あいうべ体操は昨年度の取り組み状況を市内の学校に提供し、各学校の判断で行っている。手洗い励行のための温水設備は、今のところ設置する考えはない。

# 妙高市全体で「おもてなしの心」を!



八木 清美 議員

**問** 鮫ヶ尾城は、続日本100名城にも選ばれ、県外から多くの観光客が訪れているが、市内近郊では、まだまだあまり知られていない。周知やアピールを積極的に展開すべきではないか。また、斐太歴史の里駐車場拡張の考えは。

**教育長** 鮫ヶ尾城跡の続日本100名城への選定は、市報等で広く紹介してきたが、今後も市内外に向けた積極的なPRに努めたい。斐太歴史の里駐車場の拡張は、地形的な制約等から現状では難しい。

**問** 旧関山宝蔵院庭園修復の進捗状況と今後の整備構想はどのようなか。

**教育長** 旧関山宝蔵院庭園の修復は、損傷の著しかった庭園のシンボルの滝石組みや水路等の修復工事を行い、ほぼ修復が完了した。31年度以降は、支障木の伐採や植栽、東屋等の施設を整備予定である。

**問** 31年度、当市で開催される岡倉天心サミットの今後の見通しと考えは。

**教育長** 地元顕彰会と天心サミット開催に向け、31年

度新潟県で初開催される国民文化祭事業における当市の重点事業への位置付け等を協議している。今後も地元と連携し、天心の業績や妙高で育まれた特色ある芸術文化の取り組みを全国に発信していく。

**問** 鮫ヶ尾城、旧関山宝蔵院庭園、岡倉天心六角堂等の市内の観光スポットを結ぶ予約制のシャトルバスを配置する考えは。

**市長** 観光スポットを結ぶ2次交通は、民間事業者が取り組んでいる。市としては、従来の観光地だけでなく、歴史や文化を切り口に交流人口の拡大を図ることが重要と考えており、観光資源として磨きをかけ、魅力ある歴史文化ストーリーを構築し、民間事業者による2次交通の充実につなげたい。

**問** ボランティアガイドの情報交換会等の進捗状況は。

**市長** ガイド団体の情報交換会等は、26年度の開催後実施していないが、今後交流人口を拡大し、当市のアピールのため、交通事業者とガイド団体との連携が必要であり、これらを結ぶネットワーク化と受け入れ体制の強化を図る。



# 指定避難所の早期開設と通学支援制度新設を

阿部 幸夫 議員



マニュアル作成で避難所の開設最優先

**問** 地震等の自然災害は、いつ、どこで発生するか分からない。災害直後の指定避難所の早期開設は最優先となる。町内会に必要な手続きを示すマニュアル等が必要と考えるが、当市の対応はどうか。

**市長** 市では夜間等に災害が発生した際、拠点避難所の開設を市職員が行うが、被害の状況等により辿り着けない場合でも地域が開設できるように、自主防災組織などに避難所の開設運営訓練を依頼している。また、避難所運営は自主防災組織が中心に行うことになるが、役割分担が不明確であるなど課題があり、拠点避難所ごとに運営マニュアルの作成に取り組んでいる。

防災会議に女性委員の複数参加を

**問** 防災会議への女性委員の参加を要請しているが、参加者はゼロである。地域防災の見直しや避難所開設

には、女性目線の意見や要望が重要だが、なぜ女性委員の参加者がいないのか。今後の対応はどうか。

**市長** 防災会議への女性委員の推薦について、各関係機関に対し依頼しているが、任命には至っていない。避難所運営等における女性ならではの視点や気配りは大変重要であり、引き続き女性委員を任命できるように取り組む。

若者の地元定着に通学支援制度を

**問** 親元から通える安心感から、新幹線で近隣県に通学する学生が増えている。近隣市では、定期券購入の補助や返済義務のない制度を設け、若者の地元定着や人口対策に貢献している。当市でも導入すべきと考えるがどうか。

**市長** 大学生等の定住は、在学時から親元で暮らし、地域との結びつきを深めていくことで、地元企業等への就職につなげることが重要と考えている。通学支援については、他市の事例の効果を見極め、精査した上で、31年度予算編成の中で支援のあり方について検討していきたい。



## 命と財産を守る インフラ投資と 福祉・経済の発展を！

樺沢 諭 議員



上越・長野北信地域の約80万人と  
広域連携で地方創生！

**問** 広域連携は相乗効果を生み、地域活性化につながる。近隣市町村や長野北信地域と目的に応じた連携内容と観光への期待に応える成果は。

**市長** 人口減少社会の中では、広域連携を強化した行政運営の効率化が不可欠であり、国の動向を注視し、広域連携による持続的な地方圏の確立を目指したい。また、広域連携による観光への取り組みにより、29年度のスキーを中心とした外国人観光入込客数は、27年度に比較し約52%増加した。

**問** 広域連携によるインフラ整備は、減災や安全で効率的な環境や利便性向上に繋がりが重要である。上越地域から新潟への優等列車の拡充と道路や河川の地域インフラ投資の認識と取り組みは。

**市長** 優等列車拡充は、県土の均衡ある発展のために重要であり、県や市町村による組織を通じ、優等列車の維持・拡充をJRや国に要望している。河川管理や道路ネ

ットワークの整備は、公益的な治水や物流等の観点から国や県で行うことが望ましいと考えており、利便性の向上などに繋がるインフラ投資への促進を要望している。

発達障がいでも才能豊かに活躍！

**問** 俳優のトム・クルーズさんや黒柳徹子さんなどは発達障がいであることを公表しているが、才能豊かに活躍している。発達障がいの支援は個性や能力を伸ばす教育が重要である。29年度の小中学校の特別支援学級数と発達障がいの児童・生徒数は。

**教育長** 29年度の特設支援学級数は、小中学校に33学級あり、在籍の児童・生徒数は135人である。

**問** 発達障がいを有する子どもの個性を伸ばし、将来社会的に自立し活躍するための支援として、高校進学から就労までの一貫した支援が必要だが、市の取り組みは。

**市長** 進路選択にあたっては、本人の特性や希望を勘案し、保護者も含め十分な話し合いにより適切な支援をしている。

1111が聞きたこと一般質問



# コンパクトシティ実現と公共交通ネットワーク整備

小嶋 正彰 議員



## 立地適正化計画とコンパクトシティ

## 無人自動運転バス導入検討を

**問** 人口減少と高齢化により、中心市街地の空洞化が進んでいる。都市機能を集中し、居住区域へ移住・定住を進めコンパクトシティの実現を目指す立地適正化計画が検討されているが、中心部へ人口を集中させる誘導策はどのようなか。

**市長** 立地適正化計画による住居の誘導を図るため、住宅取得支援などの制度の見直しはもとより、空き家や遊休不動産の活用等について、新たな取り組みを検討する。

**問** 周辺農村部の生活環境を維持し、活力を保つには、公共交通ネットワークの充実、整備が必要だがどのように考えているか。

**市長** 立地適正化計画では、市民が集まる施設のコンパクトな立地を図ることとしており、今まで以上に利便性の高い公共交通ネットワーク構築のため、地域公共交通網形成計画を策定し、市街地と他の地域のアクセス向上に努める。

**問** 国では自動運転バスによる公共交通社会実験が行われている。農村地域や中山間地域を抱える当市でも、社会実験に手を挙げるべきではないか。

**市長** 自動運転技術の活用は、現段階では安全対策や積雪時の安定走行等の課題があり、実用化にはしばらく時間を要するものと考えている。今後の実証実験の結果や技術革新を注視していきたい。

**問** 30年10月に開催されたライチョウ会議の成果と、今後その成果を保護活動にどう活かすのか。

**市長** 妙高ライチョウ会議のシンポジウムでは、市内中学生を初め約1000名の参加者に火打山の魅力やライチョウの絶滅危機を伝えることができた。31年度以降も生息、繁殖適地調査の実施や環境サポーターの協力を得る中で、市民参加型の保全活動を展開したい。

## ライチョウ会議の成果と今後の保護活動

**問** 6月定例会で約束し、市長の選挙公約にも掲げた学校給食費の無償化について、具体的な対応はどのようなか。

**教育長** 学校給食費の無償化は、子どもの成長や子育て世代の負担軽減、人口減少対策にも有効だが、財源確保などの面から段階的に進め、無償化の対象範囲等は、国の子育て支援策の動向を踏まえ、31年度の予算編成過程の中で明らかにしたい。



# 少子化対策に子育て支援の拡充を

霜鳥 榮之 議員



## 学校給食費の無償化を

**問** 6月定例会で約束し、市長の選挙公約にも掲げた学校給食費の無償化について、具体的な対応はどのようなか。

**教育長** 学校給食費の無償化は、子どもの成長や子育て世代の負担軽減、人口減少対策にも有効だが、財源確保などの面から段階的に進め、無償化の対象範囲等は、国の子育て支援策の動向を踏まえ、31年度の予算編成過程の中で明らかにしたい。

## 子ども医療費の窓口負担の解消を

**問** 子ども医療費助成制度は、高校卒業までに拡充してきたが、さらに窓口負担の解消で子育て支援を進めるための具体的な対応はどのようなか。

**市長** 子ども医療費の完全無償化は、子育て世代の経済的な負担軽減と適正な財政負担のバランスを考慮し、31年度の予算編成過程で明らかにしたい。

## 国保均等割額、子ども分の軽減対策を

**問** 国保制度の構造的な問題解決のため、公費の投入で協会健保並みの負担を求めている。全国の先進事例に倣って、子ども分の軽減対策を講じるべきであるがどうか。

**市長** 子ども分の均等割額について、県では保険料水準の統一を協議しており、その推移状況を見極めたい。また、全国市長会等では、子どもに係る保険税の均等割額軽減の支援制度創設を要望しており、実現に向け努力したい。

## 教育現場の実態と働き方改革は

**問** 学校はブラック職場になっているとまで言われ、教育現場の実態は劣悪である。国でも長時間勤務の早急な是正を掲げたが、当市の実態と対応はどのようなか。

**教育長** 30年度当初からの6カ月間で、月60時間を超える時間外勤務が3カ月を超える職員割合は31.6%となっている。ICTを活用した勤務時間管理等やその分析、多忙化解消プロジェクト会議の開催など対策を講じている。

**問** 30年10月に開催されたライチョウ会議の成果と、今後その成果を保護活動にどう活かすのか。

**市長** 妙高ライチョウ会議のシンポジウムでは、市内中学生を初め約1000名の参加者に火打山の魅力やライチョウの絶滅危機を伝えることができた。31年度以降も生息、繁殖適地調査の実施や環境サポーターの協力を得る中で、市民参加型の保全活動を展開したい。





# 平成31年度妙高市行政経営方針について

高田 保則 議員



**問** 31年度行政経営方針の重点施策の人口減少対策の充実・強化について、テレワークやサテライトオフィスの支援に取り組むとあるが内容はどうか。

**市長** ICTを活用し、市内企業の人手不足解消や障がい者等が就業しやすい、在宅でのテレワークの導入を支援する。

**問** 妙高版DMOの体制強化と観光事業支援の内容は。

**市長** 今後はDMOが中心となり、マーケティング機能等を活かした観光地づくりを進めるため、DMOの組織を強化し多様な関係者が主体的に取り組めるよう体制づくりを進める。

**問** 高谷池ヒュッテの山岳観光の拠点化とあるが、同じ環境下で生息している絶滅危惧種のライチョウ保護活動はどのように行うのか。

**市長** クラウドファンディングを活用した生息地や繁殖適地を把握する分布状況調査、環境サポーターズによるイネ科植物の除去活動など市民参加の保護活動を進める。

**問** 移住・定住の促進策の

「地元回帰」の取り組みを進めるとあるが、内容はどうか。

**市長** 移住の1番の条件は就労の場であることから、市内事業所に就労し、定住する方への家賃等の助成や住宅支援制度の見直しなどを行い、Uターンを促進する。

## 妙高市教育行政について

**問** 総合教育基本計画では、社会自立の生き方としての3つの視点から教育の充実と強化を図るとあるが、幼児教育、初等教育、中等教育の実態と課題は。また、生涯学習の展開について考えは。

**教育長** フレンドスクールの充実により、対人関係調整能力を育成する。家庭学習ノートの活用や教員の授業改善支援により学力の水準を高めた。また、総合学習などの体験活動を充実し郷土愛を醸成するなど、キャリア教育を通じて、自分の思いや考えを主張し行動できる力を育みたい。生涯学習については、まなびの循環や歴史文化基本構想に基づく地域施策の展開や健康保養地プログラムの普及、浸透を進める。

11月が聞きたころ一般質問

## 【審議された議案と審議結果】



### 【平成30年11月臨時会】

議案番号	議案名	審議結果
議案 第89号	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決

### 【平成30年12月定例会】

議案番号	議案名	審議結果
第90号	市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正	原案可決
第91号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正	原案可決
第92号	スポーツ等合宿の郷づくり推進条例の一部改正	原案可決
第93号	市道の認定	原案可決
第94号	損害賠償の額を定めること	原案可決
第95号	指定管理者の指定(卯の花児童遊園、藤塚児童遊園、美守児童遊園、美守東児童遊園及び妙高市大輪町ふれあい広場)	原案可決
第96号	指定管理者の指定(新井総合公園体育館)	原案可決
第97号	指定管理者の指定(矢代コミュニティスポーツセンター)	原案可決
第98号	指定管理者の指定(妙高市妙高山麓都市農村交流施設及びクラインガルテン妙高)	原案可決
第99号	指定管理者の指定(四季彩館ひだなん)	原案可決
第100号	平成30年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決
第101号	平成30年度一般会計補正予算(第7号)	原案可決

議案番号	議案名	審議結果
第102号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第103号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第104号	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第105号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第106号	平成30年度ガス事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第107号	平成30年度水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第108号	平成30年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第109号	平成30年度農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第110号	監査委員の選任同意	【和泉昭夫さん(月岡)】 同意
第111号	工事請負変更契約の締結(高谷池ヒュッテ増築・建築工事)	原案可決
諮問 第2号	人権擁護委員候補者推薦に対する意見	【宮腰トク子さん(広島)】 適任
発議 第4号	市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正	原案可決

# 議会改革に取り組んでいます!

妙高市議会では、市民の負託に応えられる議会を目指すとともに、議会の活性化や充実のため議会基本条例に基づき、議会改革を進めています。



## 議会改革とは?

「議会って何をしているの…」おそらく、多くの方がこのような認識をされていると思います。全国の地方議会では、住民の皆さんに議会について知ってもらうとともに、関心を持っていただき、まちづくりに参加できるよう取り組みが進められています。このような取り組みを議会改革と言います。

## 議会改革は何を目指しているの?

議会改革は、開かれた議会運営を行うことや、政策提言を行うための議会機能の強化によって、住民の声を行政に反映し、よりよいまちとなることを目指して取り組みを進めています。

## 最近の取り組みは?

今年度取り組んだものや、現在検討を進めている議会改革について、一部をご紹介します。

## 市内の関係団体と常任委員会との意見交換会



(総務文教委員会と地域サポート人、地域のこし協力隊との意見交換会)

30年度は、従来の議会報告会・意見交換会に加え、新たに市内の関係団体と常任委員会との意見交換会を開催しました。地域の実情や課題、さらには、地域課題の解決に向けた住民間の話し合いの状況等のご意見をうかがいました。また、意見交換会でのご意見をもとに、委員会において所管事務調査を行いました。



(産業経済委員会と新井商工会議所との意見交換会)



(建設厚生委員会と新井商工会議所建設業部会との意見交換会)

積極的な政策  
提言のために!

## 一般質問のあり方についての研修



一般質問のあり方(あるべき姿)を各議員が共有し、議会活動に活かしていくことを目的として一般質問のあり方研修会を開催しました。

研修会ではビデオ聴講後、各グループに分かれ意見交換を行い、一般質問についての共通認識を図りました。

## そのほかの議会改革に関する取り組み

### 閉会中の所管事務調査の実施

これまで主に、委員が個人で行っていた、所管事務調査を委員会として実施するとともに、閉会中における所管事務調査を行うことを承認し、委員会の調査能力の向上を図りました。

### 条例提案及び政策提言 実現に向けた仕組みの整備

市民の意見を政策等に反映させ、議会の責務を果たすため「議員提案による条例制定及び政策提言実現に向けたフローチャート」を作成しました。

### 政務活動費の後払い制への変更

妙高市議会では、政務活動費の使途の透明性を確保する手法として、一括前払いを改め、実績報告に基づく交付にするために、30年12月定例会で議員発議による条例の一部改正を行いました。これにより、31年度分の政務活動費から後払いへ変更となります。

なお、使途の内訳や収支報告書の写しは、これまで同様、市議会のホームページで公開するほか、領収書の写し等を市役所1階のコラボサロンで公開します。

このほか、ICT環境の整備の取り組みとして、会議における情報通信機器(タブレット端末)の使用について検討を進めています!



# 常任委員会調査を実施

魅力あるまちづくりに役立てるため、優れた事業を行う自治体等を調査しました

## 総務文教委員会

### 「金沢市スポーツ文化推進条例について(金沢市)」

金沢の文化に更に厚みを持たせ、新たな価値としての「スポーツ文化」を推進すること等を目的に金沢市スポーツ文化推進条例を制定し、活力と魅力あるまちづくりを推進している。

### 「若者議会について(新城市)」

日本で初めて条例で「若者議会」を定め、政策を若者自らが考え、市長に答申をし、執行していく一連の仕組みやサイクルをつくりあげている。

### 「教育負担軽減の取り組みについて(福知山市)」

全教職員が午後6時まで退勤する日やノー一部活デー、出勤時刻システムの導入など教職員の負担軽減に取り組んでいる。



(新城市)

## 建設厚生委員会

### 「老朽危険家屋等除却促進事業について(豊前市)」

適正に管理されていない危険家屋等を除却する際の費用の一部を補助するほか、撤去後の固定資産税の段階的な減免制度を導入するなど一体的な除却促進がなされている。

### 「菅原バイナリー発電事業について(九重町)」

町が所有する地熱井を民間の発電所に提供し、熱料金収入を得ることで、町の福祉の充実に役立てている。

### 「ふれあい収集事業について(田川市)」

高齢者や障がい者の在宅生活を支援するため、家庭ごみをごみ集積所まで持ち出せない世帯に対し、戸別訪問し、ごみ収集を行うとともに、ごみが出ていない場合は、安否確認を行っている。



(九重町)

## 産業経済委員会

### 「開業・創業支援の取り組みについて(久留米市)」

開業に当たって必要な知識、資金調達、事業計画の立て方、店舗改装など、商工会議所や金融機関等と連携して相談に応じられるワンストップ窓口の設置により、開業・創業支援を行っている。

### 「①周南コンベンションシティ推進に向けた取り組みについて、②道の駅ソレーネ周南の運営について(周南市)」

- ①新幹線駅や高速道IC、空港など交通の利便性や地域の長所を活かしたコンベンションシティを推進している。
- ②高齢農家からの集荷や買い物弱者への宅配、移動販売にも事業を拡大し積極的な運営に取り組んでいる。

### 「①企業産業による耕作放棄地再生と新規就農者支援、②野生鳥獣肉の利活用について(豊田市)」

- ①企業等の農業参入ガイドブックを作成し、積極的な参入により耕作放棄地の発生防止と再生などに取り組んでいる。また定年退職者等を新たな担い手として育成する「農ライフ創生センター」を開設し、栽培技術研修や中小農機具貸付、新規農業者支援により担い手確保に努めている。
- ②集落が協力して獣害対策を実施する場合、経費の9割を補助する仕組みを設け、取り組みのインセンティブを持たせている。また獣肉処理加工施設を整備し、市外へ販売するなど、市の特産品としてPRしている。



(周南市)

## 所属委員会が決定

平成30年10月28日執行の市議会議員補欠選挙において当選された太田紀己代議員は、建設厚生委員会委員に選任されました。



太田 紀己代 議員

## 編集後記

平成27年に議会基本条例が制定され、議会の役割と責務が明確になり、市民に開かれた議会、信頼される議会、さらに資質の向上にも努めて参りました。

12月定例会では、政務活動費の支払方法の透明性を確保するために、一括前払いを改め、他の各種補助金と同様に実績報告に基づく交付にするための条例の一部改正を全会一致で可決しました。引き続き市民目線の議会活動に取り組んで参ります。

今後とも議会だよりがより一層「見やすく」、「わかりやすく」、皆さんに親しまれる紙面となるよう努力して参ります。

編集委員 阿部幸夫